

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2011年11月6日現在

概況 オレゴン州の2011年11月6日に終わる1週間の気象は、降雨と降霜を伴う低温気象が続いた。Willamette Valleyの最高気温は前週より下がり55～60度F、最低気温は26～31度Fとなり、平均気温は平年を4～6度F下回った。同地区の1週間の降水量は0.54～1.01インチであった。NC地区の最高気温は60～64度F、最低気温は19～25度Fと低く、全観測所にて降霜を記録した。同地区の平均気温は平年を3～8度F下回り、1週間の降水量は0.01～0.04インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は5.1日(前週:6.4日)であった。Topsoilの土壌水分は前週より“ Adequate ” が減少し“ Surplus ” と“ Very short ” が増えた。Subsoilの水分も同様な変化が見られた。2012年産冬小麦の播種は、全州の圃場の97%(昨年同期:100%、5年平均:96%)にて終了した。Sherman郡の冬小麦の播種は概ね完了の段階となった。播種されなかった圃場は春蒔きの作物に使用される(Crop rotation)。Umatilla郡の海拔3000フィート地区では降雪があった。場所により水分過多の小麦圃場が存在した。出芽は低温が続いていることもあり、昨年並びに5年平均より遅れており、全州の48%(昨年同期:77%、5年平均:65%)の圃場にて出芽した状態であった。出芽後の作柄は昨年より良好であったが、出芽の遅れは休眠前までに十分な根の発育が出来ず、来春の休眠明け以後の小麦の正常な生育に影響が出る恐れがある。

2011年11月6日現在：土壌水分(*)

		(%)	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week		10	20	65	5
	Last week		7	25	67	1
Subsoil	This week		18	23	58	1
	Last week		13	25	62	0

2011年11月6日現在：冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr. Average
Planted	97	91	100	96
Emerged	48	40	77	65

2011年11月6日現在：冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	0	32	68	0
Last week	0	0	31	69	0
Last year	0	0	32	60	8

*) Source: National Agricultural Statistic Service, USDA-Oregon Field Office. 5-yr average means average of 2006,2007,2008,2009 and 2010 crop years

以上